取扱説明書

DAYTONA®

＊この取扱説明書はご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
＊この取扱説明書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
＊この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

バイク用スマートフォンホルダー WIDE	商品 NO.
	別記

■ ご使用前に必ず内容をご確認ください ■

＊この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ずご確認ください。

■ 禁止 ■

＊運転者が走行中にスマートフォンやカーナビ、携帯電話などの画面を注視したり、電話機能を使用したりすることは法令で禁止されており大変危険です。前方不注意による重大な事故の原因ともなりますので、法令を遵守し安全運転を心掛けてください。
＊設計外径（φ22～29）以外のバー、異形バーへの取り付けは不可。
＊設計重量制限（300g まで）を越える機種の装着は不可。
＊商品および装着品が車体部位など他部品に接触する取り付けは不可。

■ 実施 ■

＊商品開梱時や取り付け・取り扱い時に、パッケージや商品の端面やバリなどで予期せぬ怪我や事故が発生する場合がありますので十分ご注意ください。
＊商品開梱の際は、構成部品や外観に不備・異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がございましたら、ご使用前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。
＊機種の実機サイズは使用者により異なります。商品の調整稼動部や付属部品を有効に活用し、実機にとって最適な装着状態となるよう各部調整したうえで使用を開始してください。
＊電源ボタン、カメラ、スピーカー、イヤホンジャックなどの設置位置は機種により異なるため、機能に支障がでる状態での取り付けとならざるを得ない場合があります。事前に十分ご確認ください。
＊商品稼動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付け、機種装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
＊装着機種を外力や雨水などから保護する機能はありません。装着機種の傷つき・防水・防塵対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
＊この商品および装着機種の盗難防止対策は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
＊舗装・未舗装路を問わず、路面の段差を乗り越える際などに発生する衝撃の度合いによっては、図らずもロックが外れる場合があります。走行振動対策や商品（構成部品含む）・装着機種の落下防止対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
＊取り付け後約 100km 走行しましたら調整稼動部や固定部など各部を点検し、ボルト類の増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に定期点検・増し締めを行ってください。これら作業を怠ると予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。
＊この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境によらずとも経年変化や使用損耗により素材劣化（サビ含む）が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。走行使用前に商品状態を毎回必ず点検し（調整稼動部や固定部、雨水がたまりやすい箇所などは特に念入りに）、異常があれば適宜新品交換（部品または商品）してください。
＊走行使用時に商品自体や装着機種に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所を点検してください。

■ その他 ■

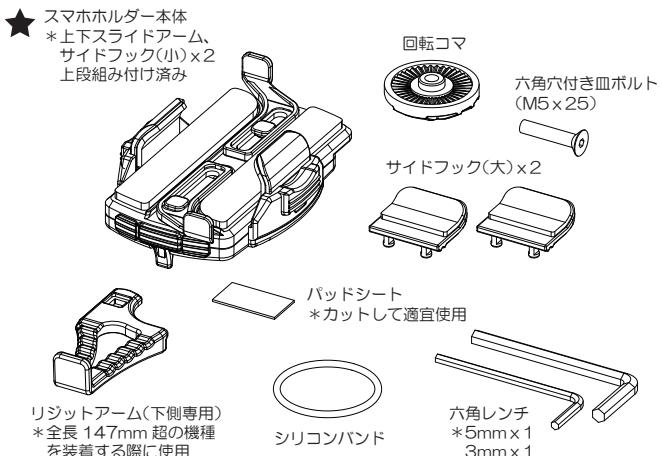
＊この商品に保証書は付属しません。ご使用にあたり商品自体や装着機種・車両、使用者本人や第三者に如何なる不具合や不利益、事故損害が発生したとしても、当社ではその賠償の責任を一切負いかねます。全て使用者本人のリスクにおいてご使用ください。
＊素材と製造方法、製品個体差などにより、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。程度の差につきましてはご了承ください。
＊この商品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。

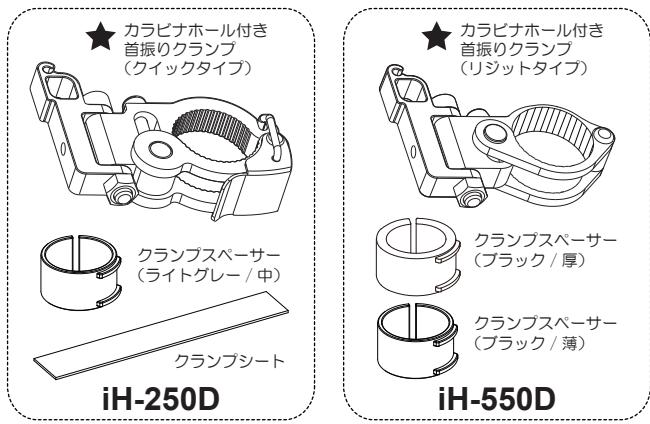
本商品の特徴　★部はデイトナ仕様のみの特別装備です。

●箕浦 iH-220/520（ボディ中央ねじ留めタイプ）のデイトナオリジナル仕様。ボディ全長を 102mm（上側を約 12mm 延長）とし、ロングセンターパッドにより機種密着座面を増量確保。片手でも操作しやすい小型ウイングロック＆リリースボタン、首振りクランプを特別装備。
●取り付け可能なハンドル外径＝φ22 ～ 29。
●装着機種寸法目安（保護ケース類を含む）＝幅 55 ～ 85mm、厚み 6 ～ 18mm、全長 110mm 以上、重量 300g 以下。機種に合わせて商品稼動部の調整固定、部品組み替えを行い装着。

商品ラインアップ

商品名	品番	税抜価格
バイク用スマートフォンホルダー WIDE iH-250D（クイック）	92602	￥4,300
バイク用スマートフォンホルダー WIDE iH-550D（リジット）	92601	￥4,300

商品構成　★部はデイトナ仕様のみの特別装備です。

＊ iH-250D と iH-550D は以下の部品構成が異なります ＊

2015/05/15

各部名称説明

★部はデイトナ仕様のみの特別装備です。

（正面）

スライドアーム
＊上下調整固定することで側面だけでなく天地方向からも機種をホールド。横置き使用時も安心
＊調整方法は別項参照

★ ホルダーボディ上側を約12mm 延長し、ロングセンターパッドを特別装備。スマホの密着座面を増量確保

★ センターパッド
＊延長したボディに合わせたロングサイズ版

サイドフック（小）
＊初期位置は上段
＊調整、組み替え方法は別項参照
＊付属のパッドシートを適宜重ね貼りして使用

サイドフック固定シム（赤い樹脂部品）
＊脱着方法は別項参照

（背面）

★ DAYTONA ロゴ入り

上側アーム固定ねじ（白亜鉛メッキ）
＊調整方法は別項参照
＊横の黒いねじは触らない

ローレット溝
＊ボディを回転させお好みに角度調整固定が可能

シリコンバンド留め具
＊ボディ背面上下に２箇所新設。ボディと連動するから横置き使用時でもバンド掛けが可能

ウイング
＊機種側面をホールドする稼動部位全体の総称

下側アーム固定ねじ（白亜鉛メッキ）
＊調整方法は別項参照
＊横の黒いねじは触らない

＊全長 147mm 超の機種を装着する際は、下側スライドアームを付属のリジットアームに組み替えて使用
＊組み替え方法は別項参照

★ ウイングロック＆リリースボタン（赤い樹脂部品）
＊左右に指あて部を設け、片手でも操作しやすいようボタン部を小型化

解除
＊レバーを一番手前に引く
＊ウイングが全開になります

中立
＊どちらでもない

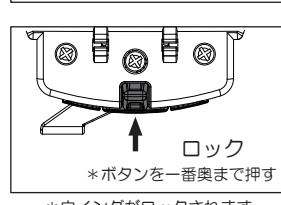
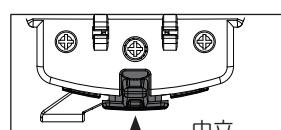
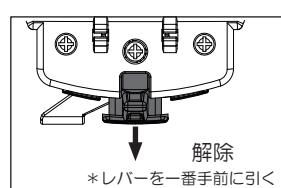
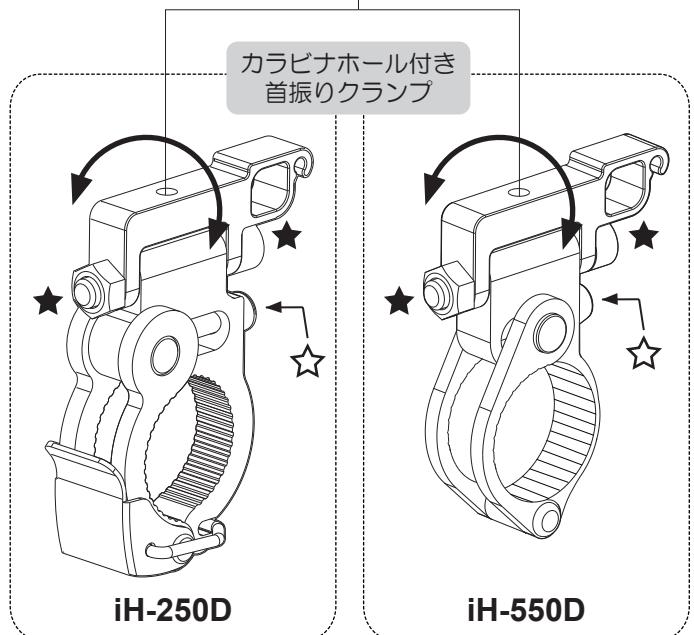
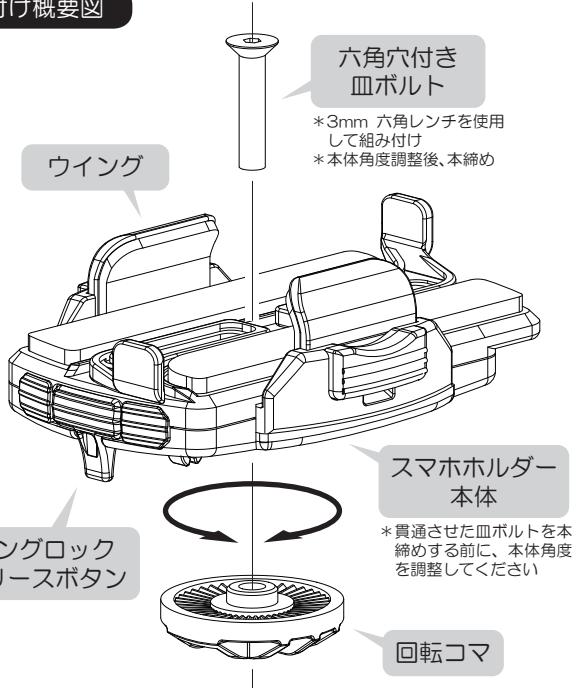
ロック
＊ボタンを一番奥まで押す
＊ウイングがロックされます

<ボタンレバー位置は３段階あり>

ロックした状態からウイングをさらに押し込まないこと

＊レバーロックが解除され中立になるため、そのまま使用すると機種脱落などの原因となります。ボタンを再度奥まで押し込み、ロックし直してからご使用ください。

走行使用前に毎回必ずロックを確認すること

＊ホルダーに機種を装着し、ウイングを押し込みしっかりとホールドさせた後は、必ず「最後にロックボタンを押し込む」操作を忘れずに行ってください。

組み付け概要図

＊5mm 六角レンチと 10mm レンチ（別途用意）を使用して、上図★印の六角穴付きステンレスボルト（M6）とナイロンロックナット（M6 用）を緩めることで、クランプの首振り角度を調整できます。調整後はボルト＆ナットを必ず本締め固定してください。尚、これら作業時はスレンレスボルトのねじかじり（焼き付き）に十分注意してください。
＊付属のクランプシートやクランプスペーサーはハンドル径に合わせて適宜使用。
＊☆印のスペシャルボルトの調整固定方法は別項参照。

シリコンバンド装着の重要性

シリコンバンドを正しく装着使用することで、走行使用時の不意の機種脱落を抑止します。ホルダー本体裏側に設けられたバンド留め具（上下２箇所あるうちの何れか）、または首振りクランプのカラビナホール上に設けられたバンド留め具に必ず装着し、ホルダーごと機種を巻き付け、確実に固定したうえでご使用ください。

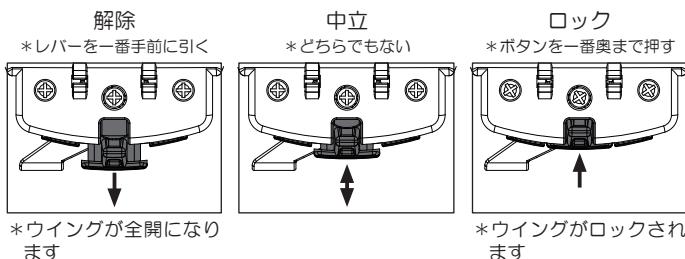
シリコンバンドの使用損耗状態は走行使用前に毎回必ず確認してください。亀裂の入ったバンドでの商品使用は厳禁です。速やかにバンドを新品交換してください。

ウイングの開閉操作

ウイングロック＆リリースボタンのレバーを一番手前に引き出すことで、左右ウイングは全開になります。

開いた左右ウイングを内側に押し込むと、ウイングは閉じていきます。

ウイングを閉じた後はボタンを奥まで押し込み、必ずロックしてください。

<ボタンレバー位置は３段階あり>

解除	中立	ロック
＊レバーを一番手前に引く	＊どちらでもない	＊ボタンを一番奥まで押す
＊ウイングが全開になります		＊ウイングがロックされます

ロックした状態からウイングをさらに押し込まないこと
＊レバーロックが解除され中立になるため、そのまま使用すると機種脱落などの原因となります。ボタンを再度奥まで押し込み、ロックし直してからご使用ください。

走行使用前に毎回必ずロックを確認すること
＊ホルダーに機種を装着し、ウイングを押し込みしっかりとホールドさせた後は、必ず「最後にロックボタンを押し込む」操作を忘れずに行ってください。

サイドフックの選択

ウイングに組み付けるサイドフックは２種類(大小)あり、各々２段階の組み付け高さを選択できます。
＊組み替え、調整方法は別項参照。

装着する機種の厚みに合わせて適切なサイドフック形状、組み付け高さを選択してください。
(下図参照)

山と谷を合わせることで、組み付け高さを上下２段階調整できます

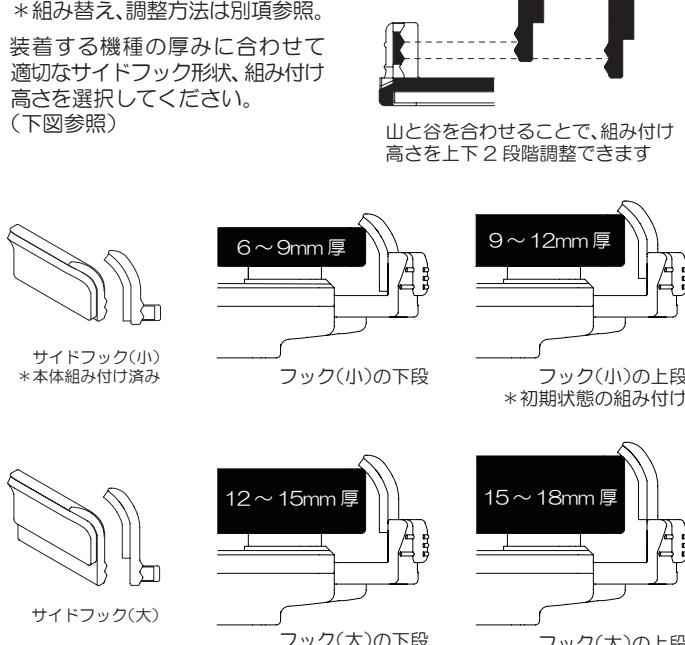
サイドフック(小)
＊本体組み付け済み

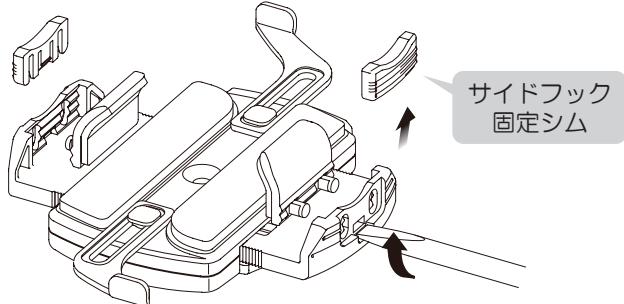
フック(小)の下段

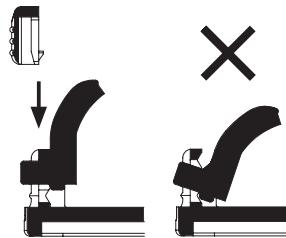
9～12mm厚
フック(小)の上段
＊初期状態の組み付け

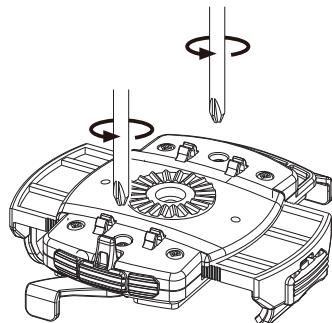
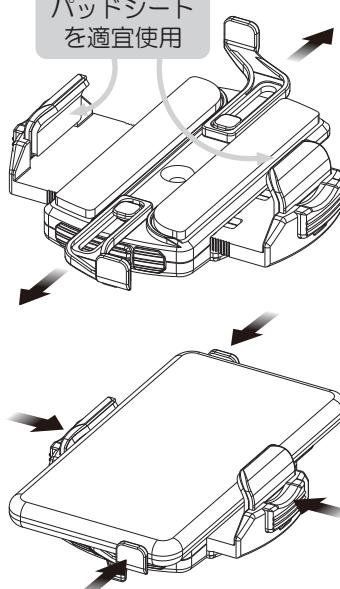
サイドフック(大)

フック(大)の下段

フック(大)の上段

サイドフックの組み替え

固定シム(赤い樹脂部品)の凹部を指のせ、マイナスドライバ(別途用意)の先端を穴に挿し込み、左右に軽くこじってシムを上にスライドさせ、シムとサイドフックをウイングから取り外します。
＊この時、強い力は必要ありません。無理にこじると部品紛失や破損の原因となります。

組み付け高さを確認のうえ（山と谷を確実に合わせる）、フックをウイングの端いっぱいに押し付けながら、外側に飛び出すピンの上に固定シムを被せ、奥までいっぱいに押し込み固定します。

固定後は各部品に異常がないことを必ず確認してください。

組み付け時のフックの山と谷がずれてる、フックの挿入が浅い、フックが傾いているなどの場合はシムがうまく入りません。
＊無理な作業は厳禁です。うまくいかない場合は最初からやり直してください。

スライドアームの位置調整

装着する機種の天地サイズに合わせて、予め上下スライドアームの位置調整を行います。

プラスドライバ(別途用意)を使用して本体裏側にあるアーム固定ねじ（中央の白亜鉛メッキねじ）を軽く緩めると、スライドアームを動かすことができます。
＊ねじを完全に取り外す必要はありません。

左右の黒いねじは絶対に緩めないこと
＊本体が分解してしまいます。

ウイングを全開にし、スライドアームを上下に十分引き出した状態で、装着する機種をホルダー中心部に置き、ウイングを閉じて仮固定します。
＊装着する機種は、できるだけ天地左右で隔たりのない状態で固定してください。

ウイングを閉じた際、機種の電源ボタンやボリュームボタンなどが押されて支障がでる場合は、付属のパッドシートをカットし、フックのパッドに重ね貼りして接触を回避してください。

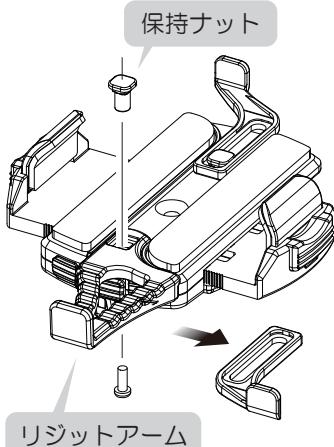
機種に押し当たる位置まで上下アームを内側に移動させ、位置がずれないよう注意しながら背面のねじを各々締め、上下アームを固定します。

ねじの締めすぎ、アームのねじれ組みは厳禁
＊部品破損の原因となります。

アームを最大限伸ばした状態での使用は非推奨
＊アーム破損の原因となります。

アームの組み換え、取り外し

iPhone6 PLUS など、全長が 147mm を超え 163mm までの機種を装着する場合は、下側スライドアームを付属のリジットアームに組み替えてください。

＊構造上、リジットアームは本体下側（ウイングロック＆リリースボタンがある側）にしか取り付けできません。また、このアームは位置調整できません。

プラスドライバ（別途用意）を使用して本体裏側の下側アーム固定ねじ（中央の白亜鉛メッキねじ）を外し、下側スライドアームと保持ナットを取り外します。

左右の黒いねじは絶対に緩めないこと

＊本体が分解してしまいます。

保持ナット予めリジットアームに組み付けておき、アームを本体にあてがい、裏側からねじを締めてリジットアームを固定します。

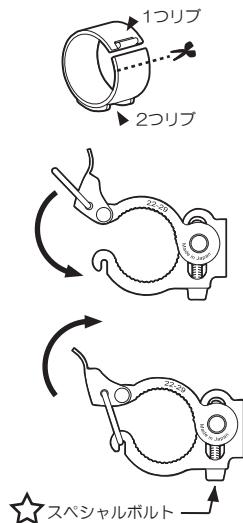
ねじの締めすぎ、アームのねじれ組みは厳禁

＊部品破損の原因となります。

構造上、全長が 163mm を超える機種を装着する場合は、下側はリジットアーム、上側はスライドアームなしでご使用いただくことになります。アーム取り外し・組み換え手順は別項「下側アームの組み替え」をご参照ください。

＊アームを取り外して使用する場合、保持ナットは再度本体に組み付け直さず、必ず本体から取り除いた状態でご使用ください。部品紛失や破損の原因となります。

上側アームなし状態での機種ホールドは左右 / 下の 3 点支持となります。横置き使用する際は特に注意が必要です。シリコンバンドを必ず装着し、全て使用者のリスクにおいて行ってください。

iH-250D 首振りクランプの組み付け

ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には 30mm 以上の組み付けスペースが必要です。

- ●ϕ22 ～ 25.4：クランプスペーサー
- ●ϕ25.4 超～ 29：クランプシート

＊ϕ22.2 ハンドルにスペーサーを使用する場合は、図のように 10mm ほどカットしてください。

ハンドルに上記部品をあてがい、その上にクランプを被せ、2 本アームに設けられたリングをフックに掛けます。ホルダー本体の組み付け方向はこの段階で予め想定しておいてください。

＊スペーサー使用時は組み付け向きに要注意。1 つリブが 2 本アームの開口部に、2 つリブが 1 本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。

倒し込むレバーがちょうど中間地点にきた時にぐっと重くなるように、5mm 六角レンチを使用してスペシャルボルトを締め込み、調整します。

＊締め過ぎは厳禁。部品破損の原因となります。

レバーを最後まで倒した際、適度な抵抗感で「パチン」と音を立てて閉じ、クランプ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

「パチン」と音がしない、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう、抵抗が強くて閉じられない場合は問題があります。一旦レバーを起こし、スペシャルボルトの締め込み調整から再度やり直してください。

＊クランプを閉じてからスペシャルボルトを増し締めするのは厳禁です。閉じたクランプの締め付けがかえって緩む原因となります。

＊組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。

iH-550D 首振りクランプの組み付け

ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には 20mm 以上の組み付けスペースが必要です。

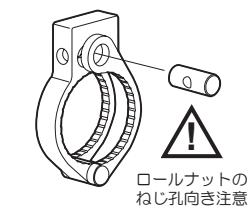
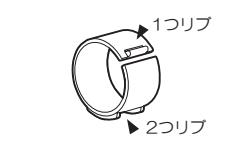
- ●ϕ22：スペーサー（厚）
- ●ϕ25：スペーサー（薄）
- ●ϕ29：スペーサーなし

5mm 六角レンチを使用して既に組み立て済みのクランプを一旦分解し、左右アームを十分開いておきます。

＊分解した部品の紛失には十分注意してください。紛失した場合、部品は有償支給となります。

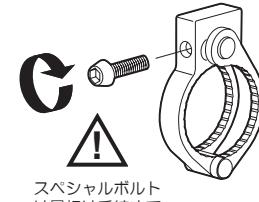
ハンドルにスペーサーをあてがい、その上にクランプを被せ、分解した部品を元通り仮組みします。ホルダー本体の組み付け方向はこの段階で予め想定しておいてください。

＊スペーサー使用時は組み付け向きに要注意。1 つリブが左右アームのヒンジ側に、2 つリブが 1 本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。

＊ロールナットはクランプ本体と左右アームを貫通するよう組み付けます。ボルトの斜めねじ込みを防止するため、ロールナットのねじ孔はクランプのボルト挿入孔に正しく向けてください。

スペシャルボルトをクランプのロールナットに組み付けます。まずは手締めで軽く３回転ほどねじ込み、ボルトがまっすぐ無理なくねじ込めることを十分確認した後、最終的に 5mm 六角レンチを使用してしっかり締め、固定します。

＊最初から六角レンチを使用してボルトを締め込まないでください。ボルトが斜めにねじ込まれると、ロールナットのねじ孔が破損します。

＊締め過ぎは厳禁。部品破損の原因となります。

ボルトがまっすぐ挿入固定され、クランプ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

ボルトのねじ込みが斜めになる、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう場合は問題があります。一旦レバーを起こし、スペシャルボルトの締め込み調整から再度やり直してください。

＊組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。

クランプの首振り角度調整

調整箇所は別項「組み付け概要図」参照。

5mm 六角レンチと 10mm レンチ（別途用意）を使用して、六角穴付きステンレスボルト（M6）とナイロンロックナット（M6 用）を緩めて角度調整します。

調整後はボルト＆ナットを必ず本締め固定してください。また、これら作業時はスレンレスボルトのねじかじり（焼き付き）に十分注意してください。

DAYTONA®

販売元 東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805
0120-60-4955（平日午前9時～午後6時）

製造元 MINOURA ㈱箕浦